

農業金融会議だよ

令和元年12月 第72号

もくじ

- 第57回通常総会・新役員挨拶
- 業務報告書及び事業計画書（要約）
- 各課からのトピックス
- お知らせ

ごあいさつ



大分県農業信用基金協会 会長理事 小川 一男

師走の候、会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当会の業務運営につきましては、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る6月28日の第57回通常総会におきまして、役員の選任が行われ、新たに1名の役員が就任いたしました。前任者同様、一層のご支援を賜りますようお願い致します。

平成30年度は、保証実残高でも800億円を突破し、求償権残高については13億円台にまで圧縮することが出来ました。これも皆様方のご協力あってのことと、深く感謝申し上げます。

農業を取り巻く情勢は、年々厳しくなってきており、さらに近年では自然災害が毎年のように発生しております。このような厳しい状況だからこそ、信用補完機関として、役職員が一丸となって大分県農業の発展に寄与していく所存でありますので、より一層のご支援、ご協力ををお願い申し上げます。

最後に皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念申し上げましてご挨拶といたします。

第57回通常総会開催

令和元年6月28日に通常総会を開催し、提案された議案につきましては、原案どおり承認されました。

○通常総会提案議案

第1号議案 第57年度(平成30年度)事業報告書、財産目録、貸借
対照表、損益計算書、剰余金処分案承認について

第4号議案 役員の選任について

第5号議案 定款の一部変更案承認について

第2号議案 第58年度(令和元年度)事業計画書案承認について

第6号議案 規約の一部変更案承認について

第3号議案 第58年度(令和元年度)理事及び監事の報酬決定について

○就任ご挨拶

令和元年6月28日の通常総会をもちまして理事に就任しました加藤典臣でございます。



農業信用保証制度を取り巻く情勢も年々厳しくなっている中、基金協会の経営の健全性確保に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事 加藤典臣
(大分市農林水産部長)

業務報告書及び事業計画書(要約)

第57年度業務報告書(要約) 平成30年4月1日～平成31年3月31日

○債務保証の状況

地域の担い手となる農業者や新たに経営改善・規模拡大を図ろうとする農業者、また6次産業化に取り組む農業者の資金・保証需要に適宜対応し、信用補完機関としての役割を果たしました。

本年度の保証額は、農業近代化資金が12億7,822万円(前年比108%)と増加し、一般資金についても83億1,502万円(前年比128.3%)

と大幅に増加しました。その結果、本年度末の債務保証実残高は808億4,599万円(前年比102.2%)となりました。

○代位弁済の状況

代位弁済は、住宅ローンの大口代位弁済が発生しましたが、関係機関との連携による期中管理等により、前年度を下回る1,536万円(前年比53.1%)の実行となりました。

求償権の回収は、大口求償権の一括入金や連帯保証人からの入金等前年度を上回る1億6,131万円（前年比102.2%）の回収ができました。

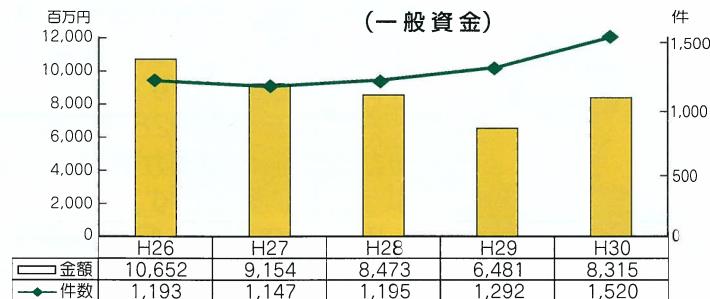
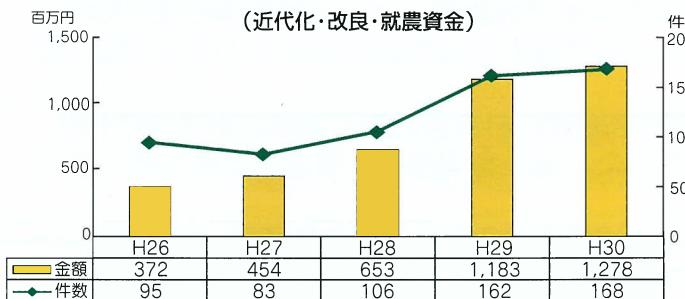
その結果、本年度末における求償権残高は13億6,532万円（前年比86.4%）となりました。

○基金造成の状況

各会員からの出資金が12万円増加した一方、交付金は477万円の減少となりました。その結果、

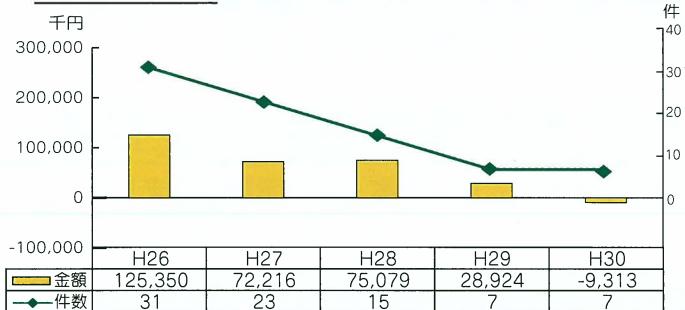
大分県全体の保証引受の推移

○保証引受の推移

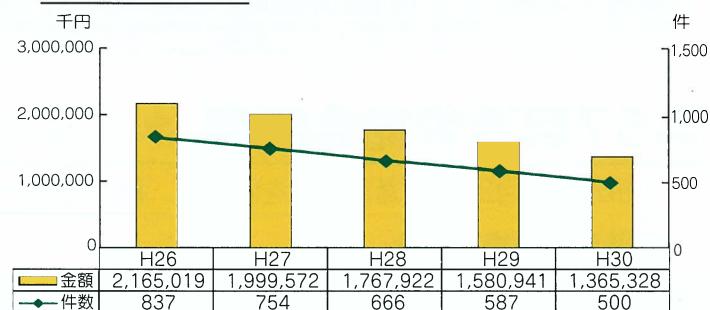


大分県全体の代位弁済、求償権残高の推移

代位弁済の推移



求償権残高の推移



(注) 平成30年度については、巻戻しに係る代位弁済金の払戻受領分を本年度代位弁済から控除しております。

第58年度事業計画書(要約) 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

代位弁済実行額	123,500
求償権回収額	108,180
求償権償却額	52,800
求償権残高	1,327,840

○債務保証の引受

農業者等が必要とする資金の融通を円滑にし、農業の生産性の向上と農業経営の改善に資するため、担保や保証人に依存しない債務保証制度の周知徹底を図ります。また、迅速・丁寧な保証審査に努めます。

(単位：千円)

	新規保証計画	保証残高
近代化資金	1,200,000	4,055,750
改良・就農資金	—	8,090
一般資金	7,739,500	78,524,113
合計	8,939,500	82,587,953

* 金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しており、合計が一致しない場合があります。

○代位弁済と求償権の管理回収

代位弁済は、大口保証案件や負債整理資金を中心に関係機関と連携しながら期中管理を実施することで経営実態の把握に努め、適切な措置を講じることで事故の未然防止に努めます。

また求償権の管理回収については、夜間・休日回収協議を実施し、不誠実な債務者に対しては法的手続を行うなど、積極的に回収を図ることで、求償権残高の抑制に努めます。

基金合計額は48億7,547万円（前年比99.9%）となりました。

○収支の状況

本年度の収支については、求償権残高や大口保証案件の残高の減少等により、債務保証損失引当金や支払準備金、求償権償却引当金を戻入したこととなり、1億3,011万円の剰余金を計上しました。